

令和2年度 学校評価表													
教育目的		「自主・創造・忍耐」の校訓のもと、ひとつ上の自分を目指す、こころ豊かで自立する人づくりを推進する。											
教育目標		(1) ”良さ”に気づき、”良さ”を大切にし、”良さ”を伸ばしながら自尊感情を高めさせる。											
		(2) 将来の夢や目標への道を切り拓く力を身につけさせる。											
		(3) 地域に信頼される学校になる。											
分掌	目標	具体的取組		自己評価			1生	2生	3生	1保	2保	3保	職員
1年	① 基本的な生活習慣を確立した心身ともに健康な生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ① (1) 学年・学級での温かい人間関係の構築を促し、遅刻・欠席をなくし、毎日元気に登校させるよう努める。 (2) 感染症等による休業期間中においても、家庭で規則正しく生活を送れるよう自律の心を育てる。 (3) 挨拶を励行し、ルールやマナーを守り、節度ある身だしなみを保つよう指導する。 ② (1) 日常の家庭学習の時間を確保して学習習慣を確立させ、基礎学力の定着をはかる。 (2) 感染症等による休業期間中においても、オンライン学習による学力定着をはかる。 (3) 定期考査・小テストの意義を理解させ積極的に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① (1) HR活動、憧華祭、体育大会や部活動などの特別活動・課外活動に積極的に参加させるを通して、コミュニケーション能力、リーダーシップ、責任感、協調性などを身につけさせる。 ② (1) 進路HR、キャリア講演会などを通じて、各自の進路について前向きに考えさせる。 (2) 進路ガイダンス、「職業インタビュー」などに積極的に取り組ませることで、各自の興味・適性・進路希望を確認させ、進路目標を設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 丁寧に面談を行うことで、信頼関係が作られ、安心して学校生活を送れるようになっていく。間違えたことには厳しい姿勢で、粘り強く指導することで、身だしなみなど生活面において非常に良好になった。 ② 週末課題を実施することで、週末も学習する習慣が身についてきた。また、小テストでは合格に届かなかった生徒に対して、課題を与え、しっかりと最後まで指導することで、合格者の数も増えていった。 ③ コロナの影響で中止や変更などがあったが、学年規模の体育大会では、クラスの団結力を見せるなど、お互いを高めあう姿勢が見られた。また、秋の遠足では楽しみながら親睦を深めることが出来た。 ④ 進路ガイダンスでは講演会や分野別講習を受けることで将来の夢を見つけることが出来た。また、総合探求の時間では、継続的な進路学習により夢の実現のためにすべきことを学ぶことが出来た。 	3.6			4.0				3.3	
	② 学習習慣の定着と学力の充実・向上				3.1			3.3			3.2		
	③ 課外活動・特別活動への積極的参加による人間性の涵養				3.4			3.6			3.1		
	④ 将来を見据え、自らの進路を切り開く姿勢の育成				3.4			3.6			3.1		
2年	① 基本的な生活習慣を確立した心身ともに健康な生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ① (1) 遅刻・欠席を減らし毎日元気に登校させる。 (2) 挨拶を励行し、節度ある身だしなみを保持するよう指導する。 (3) 行事・集会などの集団行動において規律と節度ある行動をとらせる。 (4) 日々の清掃活動を積極的に取り組むよう指導する。 ② (1) 毎日の家庭学習の時間を確保して学習習慣を確立させ、基礎学力の定着と向上をはかる。 (2) 日常の授業を真面目に取り組ませる。 (3) 定期考査・小テストの意義を理解させて積極的に取り組むよう指導する。 (4) 平常補習や夏休みの補習等に積極的に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① (1) 中堅学年としてクラブ活動に積極的に参加させ、心身の鍛錬、個性の伸長をはかる。 (2) HR活動・生徒会活動・憧華祭・体育大会等の活動において主導的役割を果たさせ、リーダーシップ、責任感、社会性、協調性等を高めさせる。特に修学旅行「白銀合宿」の計画・運営への積極的参加を通して成長を促す。 ② (1) 進路HR、「総合的な学習の時間」などを通して、将来の進路希望を具体化させるよう指導する。 (2) 進路ガイダンス、進路マップ等を積極的に取り組ませ、各自の適性・能力・進路希望等に応じた進路目標を設定させ、実現に向けて努力させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① まだまだ遅刻や欠席の多い生徒もいるが、クラス担任が個々に面談を行って、その状況を把握し、保護者との連携を図っている。 ② 今後の進路へ向けた意識を高め、学力レベルを着実に上げている生徒がいる反面、約80名の生徒が考査前でも家庭学習を行わないと回答している。今後も意識の変化を促す取り組みを進めたい。 ③ [憧華祭]・「白銀合宿」などの学校行事や部活動の大会の中止や変更などがあったが、仲間ともに前向きに学校生活を送っている生徒は多い。今後も様々な活動の制約を乗り越えて、工夫を凝らした行事や部活動などに前向きに取り組ませたい。 ④ 進路ガイダンスや総合学習、学年集会、LHRなど、様々な場面で、進路実現に向けた取り組みを行っている。個別面談や振り返り作文・今後の抱負等で徐々に具体化された目標や取り組みを伝える生徒も多くなってきた。 	3.4			3.7			3.0		
	② 学習習慣の定着と学力の充実・向上				3.1			3.0			3.2		
	③ 課外活動・特別活動への積極的参加による人格の涵養				3.0			3.1			3.1		
	④ 将来の進路を自ら切り開く姿勢の育成				2.6			3.3			3.1		
3年	① 自立した人間になるための進路目標の設定とその達成	<ul style="list-style-type: none"> ① (1) 卒業後の進路目標を設定し、その実現に向けて前向きに努力する。 (2) 社会人になる自覚を持って、望ましい職業観、勤労観を身に付ける。 ② (1) 遅刻・欠席なしで毎日元気に登校する。 (2) 挨拶を励行し、節度ある身だしなみを保つ。 (3) 行事・集会などの集団行動において規律と節度ある行動をとる。 (4) 清掃活動に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ① (1) 家庭学習の時間を増やして学習習慣を確立し、希望する進路実現のための学力の向上をはかる。 (2) 日常の授業を真面目に取り組む。 (3) 定期考査・小テストの意義を理解して積極的に取り組む。 (4) 平常補習や夏休みの補習等に積極的に取り組む。 ② (1) 最高学年としての自覚と責任を持ち、学校の中心となってHR活動・生徒会活動・憧華祭・体育大会等の特別活動やクラブ活動に積極的に取り組み、コミュニケーション能力、リーダーシップ、責任感、社会性、協調性等を高め、人として成長する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 昨年度末よりの新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業期間が5月末まで続いたため、昨年度末と本年度当初より計画していた進路指導を行うことができなかった。しかし、休校期間中の電子メールによる個別指導、学校再開後の学年集会、進路ガイダンス、面談、小論文指導、出願指導、面接指導などの指導を行い、進路実現に向けて努力させた結果、多くの生徒が希望する進路実現を果たした。 ② 学校再開後の1学期は遅刻・欠席なしで多くの生徒が元気に登校した。春の遠足、憧華祭、球技大会、体育大会は実施できなかったが、9月末の体育大会の代替行事、10月の遠足では概ねルールに遵い行事を楽しみ成果をあげた。多くの生徒が日々の清掃活動を真面目に取り組む、教室、トイレ等の美化に努めた。 ③ 進路実現に向けて多くの生徒が学習、小論文の練習等に取り組む成果をあげた。毎日放課後に図書室で自習する者もいた。読解力、文章力、表現力等を身につけるためにテスト期間中を除く毎朝ショートホームルームの時間に新聞のコラムを読む時間をとり成果をあげた。各教科で個別の進路希望に応じた夏休み、冬休みの補習を実施し成果をあげた。 			3.2			3.3	2.8		
	② 基本的な生活習慣を確立し、社会人としての良識とコミュニケーション能力を身に付けた生徒の育成						3.3			3.7	3.3		
	③ 学習習慣の確立と学力の充実・向上						3.7			4.0	3.1		

令和2年度 学校評価表													
教育目的		「自主・創造・忍耐」の校訓のもと、ひとつ上の自分を目指す、こころ豊かで自立する人づくりを推進する。											
教育目標		(1) ”良さ”に気づき、”良さ”を大切にし、”良さ”を伸ばしながら自尊感情を高めさせる。											
		(2) 将来の夢や目標への道を切り拓く力を身につけさせる。											
		(3) 地域に信頼される学校になる。											
分掌	目標	具体的取組		自己評価			1生	2生	3生	1保	2保	3保	職員
総務	①校内の環境美化に努めることで、情操豊かな人間性の養成	<ul style="list-style-type: none"> ①(1) 平常清掃・大掃除(年10回以上)への取組を徹底させる。(2) 生徒会活動を通じた、美化ウィーク(5日間)での生徒への啓発活動を行う。 ②(1) 生徒会・茶華道部・チアリーディング部が中心となり、地域イベントに参加する。(2) 美化委員が中心となり、有志の参加を含めた、校外清掃(年3回)に積極的に取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①(1) 公開授業を年2回、オープンハイスクールを年2回実施する。これを通じて地域の中学生とその保護者等に、本校の取組を紹介する。(2) 『学校案内』を通じて、本校の教育活動を広報する。(3) ホームページで学校行事の様子や生徒の取組を紹介する。 ②(1) 年2回の防災訓練(火災と地震を想定)を実施し、防災及び減災意識を高める。(2) 防災に関して、一斉メール配信(オクレンジャー)の活用のある方を検討する。(3) 防災マニュアルの改訂・見直しの作業(年1回)を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①改修工事終了後、教室のワックスがけを実施していなかったが、床面を磨きワックスをかけることができた。毎年恒例の美化ウィークも生徒会を中心に実施され、教室の清掃・整備に意欲が感じられた。 ②コロナ禍のため、各種イベントが中止となり参加する機会がなかった。校外清掃に関しても、実施を見合わせた。 ③公開授業は1回、オープンハイスクールは2回実施できた。感染症拡大防止対策を立て、第1回は教室でテレビモニターを使ったオープンハイスクールを実施した。エアコンや放送設備の整った教室で実施できたことで、高校生活をイメージできたと好評だった。第2回は、総合健康類型の説明会をアクティブラーニング室で行い、在校生の発表を盛り込んで実施できた。 ④コロナ禍のため、実施予定だった防災避難訓練は12月に1回実施した。宝塚市東消防署による防災講演会で地震時の心構えを学習した。避難経路を確認しながらグラウンドに落ち着いて迅速に避難できた。また、防災マニュアルの見直し作業(年1回)を行った。 	3.4	3.5	3.0	3.3	3.3	3.3	3.5		
	②ふるさと貢献活動として、地域活動の参加や地域の清掃奉仕活動作業を定期的に行い、地域に開かれた学校の構築				2.3	2.1	3.5	2.2	2.3	2.4	2.1		
	③広報活動の推進				3.0	2.8	2.3	2.9	2.8	2.9	2.6		
	④防災体制の充実、防災教育を推進				3.4	3.2	2.9	3.1	3.0	3.0	3.1		
教務	①基礎的・基本的内容の定着・充実	<ul style="list-style-type: none"> ①(1) 週末や長期休業中の課題を計画的に生徒に課す。(2) 1年時においては中学校の学習内容と高校の学習内容と比較し、円滑な接続を図る。 ②(1) シラバスを作成し、内容の精選、学習内容の系統的配列を工夫する。(2) ジグソー法をはじめ、アクティブ・ラーニングの観点を取り入れた指導を行い、自ら学ぶ姿勢を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①(1) 3年時に開講される選択群の科目設定の見直しを実施する。(2) 生徒の進路希望を取り入れた外部講師による授業を実施する。(3) 新学習指導要領に則した教育課程・指導内容の精選を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①臨時休業中も含め、生徒の基礎学力の定着を図れるようにスタディサプリ等のオンライン教材を積極的に活用した。生徒の基礎学力を授業担当教員が把握し、ポイントを明確に絞った授業計画がなされていた。 ②主体的・対話的で深い学びの実現を意識したシラバスを作成した。研究授業週間に他者の授業実践を積極的に参観することにより、個々の授業実践力が向上した。 ③選択科目を再検討し、生徒のニーズや進路実現に必要な科目の設定を行った。指導内容を精選し、新学習指導要領に即した教育課程を作成した。 	3.3	3.1	3.2	3.3	3.1	3.4	3.4		
	②自ら学ぶ意欲を育てる				3.1	3.1	3.4	3.2	3.1	3.4	3.0		
	③個に応じた学習指導の徹底				2.9	2.9	3.2	2.9	2.8	3.2	3.3		
進路指導	①生徒が基礎学力を身に付け、自らの生き方や進路について考え、それぞれの能力・適性・関心に応じて判断し、主体的に進路を選択できる支援・指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ①(1) 生徒の実態に即しながらも、3年間の成長を見通した進路指導計画を立てる。(2) 生徒が進路学習をよりよく進められるよう、また、教員が手ほどきとして進路指導に利用しやすいよう、『進路の手引き』の内容の充実を図る。(3) 「学習ポートフォリオ」や「JAPAN e-Portfolio」、進路ガイダンスといった、生徒が自己理解を深め、自己成長を促進する機会を効果的に設定する。(4) 進路説明会を始めとする、さまざまな機会を利用して、生徒・保護者に進路情報を適時届けるとともに、生徒の成長を促す協同態勢を保護者と教師の間に構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ②(1) 学年と協力し、進路ガイダンス等を計画し、職業観を育てる。(2) 就職希望者に対する就職講座・面接指導、就職内定者集会等を行い、職業意識・勤労意識を高めさせる。(3) 「県庁インターンシップ」「ふれあい看護体験」「職場見学」などに積極的に参加させ、職業意識を高めさせる。(4) 「看護説明会」「ナースの訪問授」を実施し、意識を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の現状を踏まえた上で『進路の手引き』の見直しを行い、内容の充実を図った。「JAPAN e-Portfolio」の廃止、コロナ禍による学校行事の相次ぐ中止等により、ポートフォリオの活用は十分にできなかったが、「学習ポートフォリオ」については継続的な取り組みを行い、「学習ポートフォリオ」をはじめとするポートフォリオの次年度以降の活用・進化について検討を進めた。生徒・保護者への進路情報の提供の観点では、進路指導室を移転し、生徒が情報収集しやすい環境を整えたり、生徒対象の進路説明会に対し保護者の参加を呼び掛けたり、新たな取り組みを行ったが、例えば進路指導部通信の発行等、情報提供についてまだまだ工夫の余地を残している。また、3年間の進路指導計画については、一定の指導計画を作成し、さらに工夫を加える段階に来ている。 ②学年と協力して進路ガイダンス・進路講演会を実施したが、十分な職業観を育てるという観点においては、大いに工夫の余地を残している。学年の努力により、1年生の段階から公務員模試に複数名が参加する等、良い兆しが見受けられるので、より一層の支援を心がけていきたい。就職希望者・看護系希望者に対する指導については、概ね当初予定通りの取り組みができたが、コロナ禍の影響により「ふれあい看護体験」「ナースの訪問授業」「就職模試」等実施できなかった点もある。1・2年生にその影響が出ないよう今後の取り組みを考える必要があり、2年生に対する「看護・医療基礎力判定テスト」の導入や、就職希望者集会・面談・学習講座の実施等、既に取り組みを始めている分については、今後一層の改善・進化を工夫していきたい。 	3.2	3.2	3.0	3.2	3.2	4.0	3.6		
	②生徒一人一人が社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観・職業観を身に付けることができるよう支援・指導をする。				3.2		3.7	3.1	3.1	3.6	3.4		

令和2年度 学校評価表													
教育目的		「自主・創造・忍耐」の校訓のもと、ひとつ上の自分を目指す、こころ豊かで自立する人づくりを推進する。											
教育目標		(1) ”良さ”に気づき、”良さ”を大切に、”良さ”を伸ばしながら自尊感情を高めさせる。											
		(2) 将来の夢や目標への道を切り拓く力を身につけさせる。											
		(3) 地域に信頼される学校になる。											
分掌	目標	具体的取組		自己評価			1生	2生	3生	1保	2保	3保	職員
生徒指導	①「生きる力」を育み、自己肯定感の育成を図る。	①基本的な生活習慣を確立させる (1) 時間を守る 遅刻をしない意識を根付かせる。 (2) 環境整備 場の雰囲気大切にさせる。美化ウィークを実施し、学ぶ環境の整備を徹底させる。 (3) 挨拶 挨拶の励行、服装を整えさせる。 (4) 学習に取り組む雰囲気づくり チャイムでの着席。 ②学校行事に主体的に取り組ませ、充実感と自己有用感を積み上げさせる。 (1) 各種学校行事の意義や価値を理解させ、マネージメントの手法を理解させる。また、部活動においてはキャプテン・マネージャーミーティング(CMミーティング)を通じて部活動生徒のあり方や行動を考え、部活動生徒に周知徹底させる。	①安全・安心な学校づくりに寄与する (1) 関係部署と情報を共有する。 (2) 常に生徒と向き合う姿勢を発信し、相互理解の礎を構築する。 (3) いじめに対する未然防止と問題発生時の早期対処を徹底する。	①新型コロナウイルス感染症の影響により、各種学校行事が中止となり生徒に充実感や自己有用感を感じさせることができなかった。しかし、生徒会役員でコロナ禍でも自分たちができることは何かないかと考え、有意義な検討会を重ねることができた。 ②各学期に美化ウィークを実施することで、普段自分たちが学んでいる教室をいかにきれいに清掃し、環境整備を行うことが大切かを訴えることができた。 ③警察・学校カウンセラーへの連絡を・相談を行い、迅速な対応を行った。身だしなみ指導を毎月実施した。駐輪指導を実施し、違法駐輪者や無鑑札者への指導を積極的に実施した。	3.5	3.3	3.4	3.5	3.5	3.6	3.5		
	②自律型高校生を育み、何事にも挑戦する態度を醸成する。				3.2	3.0	3.5	3.2	3.1	3.4	3.0		
	③学校・家庭・地域・警察を含む関係機関との連携を図り、生徒の健全育成及び問題行動の未然防止に努める。				3.3	3.0	3.3	3.6	3.5	3.7	3.0		
図書・人権	①図書室の利用状況の向上	①(1) 図書委員会を月1回行い、生徒に適した運営を行う。 (2) 設置された生徒用コンピュータの利用の充実。 (3) 生徒向けタブレット、生徒向け無線LANの構築 ②(1) 人権教育基本方針の確認・掲示する。「snsでの人権」 (2) 人権LHRでの指導案の反省、検討と意見交換を行う。	①(1) アクティブラーニング室の利用環境の充実。	①コロナの関係で年度当初の導入指導ができず、その後も密にならないような運営となった。教育支援金の閲覧コーナーの椅子を更新していただいた。コロナ対策のため閲覧コーナーが従来6人掛けのデスクを4人掛けとした。無線LANが導入されたので無線の設定し従来の有線接続のわずらわしさから解放された。破損時の弁済を考え保険の加入の必要があり、育友会にお願いできた。 ②コロナの関係で計画していた講演会が開催できずビデオ中心の人権LHRとなった。1学期が短縮されたため、実施内容も少なくなった。 ③無線LANを設置できたので運用が可能となった。	1.8	1.9	3.4	1.9	2.0	2.5	2.8		
	②特別支援教育の手法や観点での職員研修会の実施				2.1	2.3	2.4	2.2	2.3	2.7	3.4		
	③情報機器を利用しやすい環境の構築				2.6	2.6	2.5	2.7	2.8	2.9	2.8		
保健	①保健活動の推進	①(1) コロナウイルス対応策を実施する。 (2) 学校保健安全計画の立案、実施による健康管理保健教育の徹底させる。 (3) 生徒保健委員会の自主的な実践活動の促進する。 (4) 生徒の健康意識の高揚を図る。 ②(1) 学校医・委嘱医療機関・地域社会との連携による疾病の予防と早期治療の指導を行う。 (2) 規則正しい生活習慣を身につけさせるための指導を行う。	①(1) 教育相談委員会を中心にした相談体制の充実を図る。 (2) 個人面談やキャンパスカウンセラーによるカウンセリング等を通し問題の早期発見に努める。 (3) 教職員に対する教育相談研修会を実施する。 (4) 個々の状況に応じた合理的配慮の実施と情報の共有を行う。 ②(1) 安全点検の励行による学校管理下における事故防止の推進を図る。 (2) 生徒個々の安全意識を高める指導を行う。	①コロナウイルスに対する正しい知識、学校生活を生徒・職員に周知した。本年度の立案と確認を行い実施し、来年度に向けての計画を検討した。 ②検診を実施し、受診を勧告した。1年を対象に、歯科衛生講習会、性教育講演会を行った。保健だよりを発刊した。 ③教育相談委員会を行い、気になる生徒に関して情報を共有した。カウンセリングを前期10回28件(2月末現在)実施した。該当生徒の情報を関係教員と共有した。カウンセリングマインド研修会(2回)を実施した(参加率97%)。特別支援委員会を2回実施し、情報を共有し、必要な配慮を把握し、実施した。 ④学校薬剤師による環境衛生検査を実施した。日常の観察による安全点検を行った。	2.7	2.7	2.7	2.9	2.9	3.0	3.1		
	②疾病の予防と早期治療、生活習慣の確立				3.0	2.9	2.8	3.0	3.1	3.1	3.2		
	③教育相談活動の推進と「合理的配慮」の適切な提供				2.4	2.5	3.0	2.8	2.9	3.2	3.3		
	④安全点検の励行と事故防止				3.4	3.3	2.8	3.3	3.4	3.5	3.3		
総合健康類型	①1年次 アクティブ・ラーニング、コミュニケーションの向上	①コロナウイルスの影響で実施できることを行う。 ・外部講師の調整中 ②コロナウイルスの影響で実施できることを行う。 ・コーチング・ティーチング ・他人の気持ちを理解する心のはたらき ・テーピング入門 ・健康なからだをつくるための体カトレーニング ・障害と障害者のとらえ方 ・筋の仕組みを調べる方法 ・レクリエーションの学び ・関節運動について ・外部講師の調整中	①コロナウイルスの影響で実施できることを行う。 ・姿勢は人を劇的に変える ・理学療法士の仕事について ・防災・減災 ・外部講師の調整中 ・手話講座 ・地域交流 わかばの森保育園 2回 ・卒業論文	①アサーティブコミュニケーション・傾聴 ② ・コーチング・ティーチング ・他人の気持ちを理解する心のはたらき ・パラダイムシフト ・自己コントロール感を高め主体的に生きる ・理学療法士の仕事について ・動きつくりの基本 ・笑いと心を科学する爆笑計 ・宝塚に若者が集まる最高のスポーツエリアを創ろう ・五大栄養素をスキヤモンの器官別発育曲線 ・臓器移植 ③ ・手話講座 ・卒業論文									
	②2年次 スポーツ、医療等												
	③3年次 スポーツ、医療等												